

11 December
International
MOUNTAIN DAY

12月11日は国際山の日

宇奈月温泉開湯100周年イベント

国際山岳年プラス20

シンポジウム in 黒部

「我ら皆、山の民」—現在と未来—

入場無料

シンポジウムでは2002年からの20年間で問題となった課題を踏まえ、未来に向けて日本や世界の自然環境と人々の暮らしの持続的発展を科学的視点で議論し、この成果を日本だけでなく世界へ富山県そして黒部市から発信していきます。

2022 **12.10** (土) ~ **11** (日)



富山県黒部市宇奈月

会場：黒部市芸術創造センター

セレネ



一般財団法人
全国山の日協議会



主催：一般財団法人 全国山の日協議会
特別協賛：一般社団法人 立山黒部ジオパーク協会
一般社団法人 黒部川扇状地研究所

後援：警察庁、消防庁、文部科学省、林野庁、国土交通省、観光庁、環境省
富山県、黒部市、北日本新聞社、毎日新聞社、(一社)共同通信社、NHK富山放送局、
日本スポーツ振興センター(国立登山研修所)、日本山岳会、日本山岳ガイド協会、日本勤労者山岳連盟、
日本山岳・スポーツクライミング協会 (一部申請手続き中)

【来場者へのお願い】

会場周辺には、レストランやコンビニエンスストアがございませんので各自で昼食の用意をされますようお願いいたします。

<https://www.yamanohi.net>
<https://www.facebook.com/yamanohi811>

20221107

お問合せ 一般財団法人 全国山の日協議会 国際山岳年プラス20シンポジウム実行委員会事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10-5 ハツ橋ビル301号室 ☎ 03-5315-0652 e-mail: office@yamanohi.net

写真提供：荻野 弘文
制作：古畑 芳範



国際山岳年プラス20 シンポジウム in 黒部 プログラム

期 日：2022年12月10日(土)・11日(日)

会 場：黒部市芸術創造センター「セレネ」大ホール

◆12月10日 (土)

○9時30分～10時00分 開会式

(挨拶)

谷垣 禎一 一般財団法人全国山の日協議会会長 (ビデオメッセージ)

武隈 義一 黒部市長

務台 俊介 超党派「山の日」議員連盟事務局長・衆議院議員

上田 英俊 衆議院議員

中尾 哲雄 一般社団法人立山黒部ジオパーク協会会長

小林 正樹 一般財団法人全国山の日協議会常務理事 (趣旨説明)

司会：下澤 弥生 (NHKマイあさレポーター)

○10時10分～11時00分 <講演 I>

アシベック・アイダラリエフ (キルギス国際大学学長)

Global Sustainable Mountain Development: Contribution of Kyrgyzstan in Solving of Problem in Mountainous Countries

(世界の山岳地域の持続的発展：山岳国キルギスからの問題解決と貢献)

○11時10分～12時50分

(セッション1) 山小屋と登山道の取り組みと安全への歩み

コーディネータ：愛甲 哲也 (北海道大学農学部准教授)

佐々木 泉 (阿曾原温泉小屋オーナー) 黒部の登山道整備の難しさ

清水 ゆかり (朝日小屋管理人) コロナ禍における朝日小屋の実情と問題点

山田 直 (北アルプス山小屋友交会会長)

中部山岳国立公園 (北アルプス) 内における利用環境の維持に関する

課題及び山小屋の役割と現状について

< 討 論 >

○12時50分～13時30分 < 昼 食 >

○13時30分～15時10分

(セッション2) 山岳地域の災害と復興の経緯

コーディネータ：古川 不可知 (九州大学講師)

ダナンジャイ・レグミ (ネパール観光庁長官)

カビンドラ・バッタ、シタラム・ダハール (ネパール・ツーリズム・ボード)

Mountain Tourism and Hazards: An assessment of Nepalese Himalayas

(山岳観光開発と災害：ネパールヒマラヤのアセスメント)

志鷹 新樹 (丸新志鷹建設株式会社取締役社長)

ネパールにおける山岳土木工事への貢献と技能実習生の受け入れ

駒見 真一 (富山県地方創生局観光振興室世界遺産・ふるさと教育推進課長)

立山砂防の歴史的意義と世界文化遺産登録へ向けた取り組み

< 討 論 >

○15時15分～16時55分

(セッション3) 山岳地域の自然資源の保護・保全対策

コーディネータ：中尾 文子 (北海道大学公共政策センター教授)

マクサト・アナルバエフ (キルギス国際大学)

Current status and legislation on wildlife protection in the mountains of Kyrgyz Republic

(キルギス山岳地域の野生動物保護の現状と法規制)

泉山 茂之 (信州大学教授) 日本の山岳における野生動物管理の課題

大宮 徹 (富山県森林研究所森林環境課主任専門員)

立山における植生及び森林の保護と課題-外来植物除去の活動

< 討 論 >

○16時55分～17時10分 < 休 憩 >

○17時10分～18時00分 <講演 II>

萩原 浩司 (山と溪谷編集長・山の日アンバサダー)

国際山岳年から20年。「山の日」制定に至る経緯と登山界の現状と未来について

○18時10分～19時30分 <レセプション>

◆12月11日 (日)

○9時00分～9時50分 <講演 III>

ヘルマン・クロイツマン (ベルリン自由大学名誉教授)

International Year of Mountains Plus 20-Focus on Sustainable Mountain Development

(国際山岳年プラス20-持続的山岳地域開発の焦点)

○10時00分～11時40分

(セッション4) 山岳ジオパークの現状と国民への普及

コーディネータ：飯田 肇 (一般社団法人立山黒部ジオパーク協会理事)

王生 透 (一般社団法人立山黒部ジオパーク協会会員)

立山黒部ジオパークの実情と問題点

竹乃内 耕 (フォッサマグナミュージアム館長)

糸魚川ユネスコ世界ジオパークの活動と課題

目代 邦康 (東北学院大学教養学部准教授)

日本の山岳ジオパークの現状と課題

< 討 論 >

○11時40分～12時30分 < 昼 食 >

○12時30分～14時10分

(セッション5) 山岳地域の観光利用拡大による注意点

コーディネータ：トマス・ジョーンズ (立命館アジア太平洋大学教授)

山本 清龍 (東京大学大学院農学生命科学研究科准教授)

山岳観光地を取り巻く環境の変化と対応-富士山と尾瀬の事例から

ロバート・トムソン (北星学園大学准教授)

大雪山が語る北海道山岳地帯のインバウンドの可能性と課題

遠藤 博伸 (富山県ナチュラリスト協会会長)

立山黒部地域でのナチュラリスト活動と課題

< 討 論 >

○14時10分～14時30分 < 休 憩 >

○14時30分～15時50分

(クローージングセッション) 山岳地域の持続可能な明るい未来は?

コーディネータ：渡辺 悌二 (北海道大学地球環境科学研究院教授)

セッション1 山小屋と登山道の取り組みと安全への歩み：愛甲 哲也

セッション2 山岳地域の災害と復興の経緯：古川 不可知

セッション3 山岳地域の自然資源の保護・保全対策：中尾 文子

セッション4 山岳ジオパークの現状と国民への普及：飯田 肇

セッション5 山岳地域の観光利用拡大による注意点：トマス・ジョーンズ

国際山岳年プラス20シンポジウムの総合討論

○15時50分～16時20分

2002年国際山岳年日本委員会の発足から国際山岳年プラス20シンポジウム

開催までの経緯

水嶋 一雄 (一般社団法人黒部川扇状地研究所所長)

○16時20分～16時30分

主催者挨拶

梶 正彦 (一般財団法人全国山の日協議会理事長)

【来場者へのお願い】

・会場周辺には、レストランやコンビニエンスストアがございませんので各自で昼食の用意を
さされますようお願いいたします。

・プログラムについては変更場合があります。

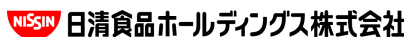
全国山の日協議会は下記のオフィシャルパートナーをはじめ団体賛助会員、個人賛助会員の皆様のご支援により運営しています。

味の素株式会社

株式会社ゴールドウィン

日清食品ホールディングス株式会社

株式会社マツキヨココカラ&カンパニー



一般財団法人

全国山の日協議会

お問い合わせ：一般財団法人 全国山の日協議会 国際山岳年プラス20シンポジウム実行委員会事務局

☎ 03-5315-0652 e-mail: office@yamanohi.net